



高山西ロータリークラブ

# 例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30  
●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行 高山支店 4 F

●会長 古橋 直彦  
●幹事 遠藤 隆浩  
●会報委員長 塚本 直人



氷点下の朝散歩 蜘蛛手 康介

## <会長の時間>

先週の土曜日 6 日に濃飛グループ可茂 R C の創立 30th が「シティホテル美濃加茂」で開催され、高山 3 クラブの会長・幹事、洲岬濃飛グループガバナー補佐、刃田ガバナーエレクトと計 8 名で出席してまいりました。可茂 R C は昨年、兼松濃飛グループガバナー補佐を輩出されていましたが、会員数 15 名のクラブです。祝賀会も総勢 43 名での開催で、濃飛グループの幹事さんにも案内が来たのもうなずけました。

個人的には懐かしい方にお会いできました。現在では「ガバナー補佐」となっていますが以前は「分区代理」と言っていた時代がありその「岐阜県第 5 分区代理」と言っていた最終の頃分区代理を勤められた小原さんにお会いできました。可茂 R C のチャーターメンバーで、インターシティミーティング (IM) では「小原分区代理」自らハワイアンバンドでウクレレとボーカルを披露されたのでご存じの方もおいでと思います。

小原さんが高山 R C の岩堤先生の話をしていました。その時、高山西 R C の会長さんは斐太石油の石田さんです。石田さんは第 34 代の会長さんなので 17 年前。何時から「ガバナー補佐」となったのか覚えていません。小森さんはご存じかも？メンバーが 15 名と言う事もあり今年の馬場会長も 2 回目の会長さんです。冗談で「来年ひよっとすると 3 回目を」と言ってみましたが、会長は何かやって頂ける方がおいでだったようです。それでも「カバン持ち (幹事) をする事となりました。次年度高山にまたお邪魔します」とおっしゃってました。会員数に関しては当クラブも「対岸の火事」などでは無いのだという事を理解頂きたいです。

今月は、下呂 R C も 2 月 22 日に創立 55th を迎えますが、こちらは身内だけでお祝いをなさるそうです。因みに下呂 R C は現在会員数 19 名です。

以前、会長の時間で大和言葉の事について話しましたが少し関連のある話になります。

昨年、雅楽演奏家の東儀秀樹さんのコンサートに行った時です。そこで東儀さんがこんな話をされました。「故郷」「朧月夜」「浜辺の歌」など、日本人の叙情歌は明治以降に日本の作曲家たちが一生懸命洋楽を勉強し、日本人がなじめる、ロザミヤ、覚えやすいメロディを残してきた素敵な歌なのです。なにしろメロディが清らかで美しい。そして、何よりも素晴らしいのが歌詞！とても美しい言葉、品のある単語。そこから連想し、共感できる日本の季節や日本人の心の美しさ。ほとんどの人はこれらの歌を知っているから、そのメロディを聴けば何となく歌詞を思い出さう。「日本語の美しさ」をいまいち思い出してほしい。

学校で当たり前習ってみんな歌っていたこれらの歌。でも、最近ではこれらの叙情歌は小学校などではだんだん扱われなくなっ

ているのだそうです。そのかわりに最近流行の J-Pop をたくさん取り入れる。なじみやすい J-Pop を入れるのは悪いことではない。ただそのために古き良きものを削除する必要はどこにも無い。削除される理由の一つに、叙情歌は言葉が古く難しすぎて、子供にわかりづらいからだという。まったくひどい話だ。文部科学省はいい何を考えているのか！僕らがこどものときも言葉が難しくてわからないまま歌っていた。でもしっかりその言葉の意味がわかった瞬間にとっても味わい深い日本語の尊さを感じた。美しい言葉、美しい情景。昔の人が伝えて残したいと思ったのは音楽だけではない。日本の、日本人の空気なのだ。ぜひそれを思い出してほしいと思う。

立春も過ぎました。皆様も「春は名のみの風の寒さや」とロザミヤさんでは如何ですか？



## <幹事報告>

### ◎ガバナーエレクトより

・「地区研修協議会」

ご協力をお願い

日時 4 月 17 日 (日)

会場 飛騨・世界生活文化センター

※設営運営に 6 名程度の御支援をお願い致します

### ◎高山市文化協会より

・平成 28 年度高山市文化協会通常総会のご案内

日時 3 月 25 日 (金) 午後 5 時 30 分より

会場 桜山八幡宮 参集殿

議題 協会事業計画案、収支予算案審議

### ◎光記念館より

・特別展のご案内および招待券・優待券

「花鳥風月～大観・玉堂・松園他～」 期日 2 月 27 日 (土)～6 月 12 日 (日)

### <受贈誌>

R I (寄付推進&補助金ニュース)

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	31 名	0 名	31 名	41 名	75.61%
本日	31 名	—	31 名	42 名	73.81%

世界へのプレゼントになろう

# 例会報告

## <本日のプログラム>ロータリー情報委員会

委員長 内田 幸洋

ロータリー情報委員会担当例会ですので、本来であればロータリーについてのお話をさせていただくのですが、12月の田中武さんのスピーチが素晴らしく、内容も重複する部分がかなりあるため、本日は趣向を変えまして、仏師の高田 慈眼 様に講話をお願い致しました。略歴をご紹介します。



昭和21年(1946年)岐阜県高山市生まれ。15歳より一刀彫の彫刻をはじめ、19歳奈良仏師太田古朴師に師事。その後京仏師松久朋琳師、松久宗琳師に師事。以後四十余年、仏師として多数の仏像を手掛ける。昭和61年臨濟宗妙心寺派僧籍に入る。以上です。高田 様、よろしくお願いします。



仏師となって 高田 慈眼 様

彫刻刀を執るようになって今年で54年目になる。この道へ入ったきっかけは、十三歳の頃法隆寺の「国宝九面観音像」を見た時から始まった。子供心に何とも言えない仏像の魅力と不思議な力を感じた事を覚えている。

以来、仏像に興味と憧れを持ち、将来は仏像彫刻家になりたいと願うようになった。十五歳で高山の一刀彫師に弟子入りしたが、益々仏師への道が頭から離れず、僅かな小遣いで旅費を貯め、京都や奈良を何度も往来して、仏像を観たり仏像の師を捜し訪ね歩いたりした。多くの師に出会い数多くの教えを受けている内、七年間の修業生活も終りいよいよ仏師の道へと希望に燃え、奮起していった。

その後、姫路の資産家に寄食し、仏像から動植物に至る様々な彫りの勉強をする機会に恵まれた。同時期に京都の画家に師事したが今も私の耳に焼きついている言葉は「対象に命を捧げる事に依って真の芸術が生まれる。他者献身の精神で描くのだ」です。

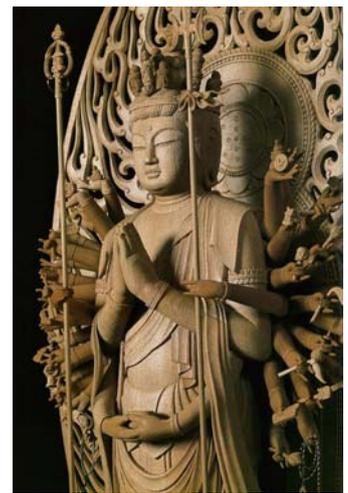
縁に依って奈良と京都の仏師に師事する機会を得ることが出来た。

ひたすら深く感謝しながら仕事に打ち込んでいる毎日である。しかし、仏師の道は尚厳しく、70歳近くなった今でも、毎日毎日、一作一作、像を創る度に必ず壁にぶち当たってしまう。この壁を安易に乗り越えようとするとう像が死んでしまうのである。木は正直である。無抵抗である。彫り手が未熟ならその様に、彫り手が愚かなら愚かな像となってしまう。

仏像は仏の教えを形にしたものである。一体の像が完成するまで数ヶ月もかかる、一升ますの米を一粒ずつ箸で挟み、一方の一升ますへ一粒ずつ移す様な仕事をせねばならない。像が完成するまで常に体調を整え気力を充実させることを保たねばならない。仏を創ることは己れを創ることである。苦しんで苦し

みぬいて壁を乗り越えて、初めて生きた真の像になる。時間を越えて完成させた像と対面する時、疲れを忘れ喜びは心底から湧き上がってくる。

今日まで日本には、千年以上の仏像を創る歴史があるが、だいたい五百年位の間隔で解体修理が行なわれている。私の創る仏像も五百年もつように造っている。その五百年の責任を背負って、毎日仕事をしているのである。仕事をすることは、正に坐禅であり鑿を打つ音は仏師の唱えるお



千手観音像(桂) 1988年  
90×40×40 cm

要なら、神仏は私に仕事を与え続けてくれるであろう。私のすべてを神仏に任せておきたい。七十にして惑うことを恐れず、の心境である。

今後は、仏像以外、森羅万象、遍く対象として、以前のように彫刻を創っていきたい。南瓜もいい。人物もいい。花も魚もよい。それによって真の仏像を創ることが出来るのである。

## <ニコニコボックス>

### ●古橋 直彦さん

高田 慈眼 様の御来訪を歓迎いたします。ご講話よろしくお願い致します。

### ●内田 幸洋さん、伊藤 松寿さん、挾土 貞吉さん

高田 慈眼さん、本日はありがとうございます。よろしくお願い致します。

### ●鍋島 勝雄さん

本日のゲスト高田 慈眼 様の御来訪を歓迎いたします。卓話楽しみにしております。また、誕生日のお祝いをありがとうございます。自分の健康のために使わせていただきます。

### ●折茂 謙一さん

誕生祝いの血圧計有難うございました。ここ数年間測定した事はありませんでした。これからは机の上において時々使うようにします。

### ●井辺 一章さん、堺 和信さん

本日、次年度の委員会名簿を発表させていただきました。一年間よろしくお願い致します。

### ●下屋 勝比古さん

娘の所属する山高ハンド部は東海3位で通過し全国高校選抜へ出場が決まりました。またブラックブルズは昨日エリート集団ソニーセミコンダクタに勝利しリーグ4位に浮上しました。20日のホーム戦の声援をお願いします。

### ●住田 泰典さん

出前講座の内容を家内に話したら「お父さんはお金にがめついからギラギラした話はダメよ!!」と言われてしまいました。相手は中学生…難しいです。ロータリークラブの名を汚さぬよう頑張ります。

### ●田中 晶洋さん、米澤 久二さん、門前 庄次郎さん、井上 正さん、田中 正躬さん、大村 貴之さん

明日は高山西RCメンバーによる日枝中学校での出前講座です。仕事に対する考えや、高山で仕事をする事の誇りを若者に伝えて高山の良さを再認識してもらい、将来の飛騨高山を盛り上げる布石になる事を願います。

世界へのプレゼントになろう